

自昭和十二年十二月十日
至昭和十二年十二月十三日

南京附近戰鬥詳報

第六號

步兵第百五十聯隊

南京
附近戰鬥詳報

歩兵第百五十聯隊長
陸軍歩兵中佐 山本重真

第一戰鬥前ニ於ケル彼我形勢ノ概要

一師團作戰地境更改ノ上黄墅附近ヨリ方山南方ヲ迂回シ轉
進セル旅團ハ師團命令ニ依リ昨十二月九日夜午後八時頃永慶
庵附近ニ露營ス

我第一線ハ數線ニ編成セラレタル本防禦線將軍山南方約二吉米
ノ菓園村東西ノ敵陣地ニ對シ夜ニ入ルモ攻撃ヲ續行シアリテ近
對峙シ彼我ノ銃砲聲ハ夜ヲ徹シ猛烈ヲ極ム

二同夜第二大隊(第五中隊欠)及歩兵砲隊主力復歸シ次テ翌十日
第一大隊長ノ指揮スル第一第五第一機関銃中隊モ復歸ヲ
豫想セラレ聯隊ハ第二第三第十中隊及聯隊砲中隊ヲ除キ悉
ク軍旗ノ下ニ集結シ戦力一殷ト充實セントシ志氣大ニ振フ

第二戰鬥經過概要

十一月十日天無ク白日ノ聯隊ハ先記要旨ノ旅團命令ニ接ス

旅團命令ノ要旨

一、前面ノ敵ハ退却ヲ開始ス

師團ハ此ノ敵ヲ追撃ス

二、旅團ハ15i ☆ 150iノ順序ヲ以テ速ニ本道上ヲ南京ニ向ヒ追撃セン
トス

三、各隊ハ所命ノ序列ヲ以テ本道上ヲ南京ニ向ヒ追撃スベシ

四、聯隊ハ直ニ集合勇躍追撃行動ニ移ル時ニ午前八時ナリ
聯隊長ハ同時左ノ要旨ノ訓示ヲ命令受領者ヲシテ傳達セム

訓示

南京城攻撃ニ方リ部下將兵ニ告ケ

上陸以來茲ニ一閱月諸子ハ各其ノ任務ニ基キ或ハ金山嘴鎮
或ハ上海ヨリ連日連夜萬難ヲ克服シテ百数十里ニ亘ル各地
ノ頑敵堅陣ヲ掃蕩シ今既ニ南京要塞本防禦線ヲ突破シ

南京本城指呼ノ地ニ違ス

余ハ此ノ間ニ於ケル諸子ノ辛勞ヲ衷心感謝ス柳南京攻畧
ハ皇國三千年史上未曾有ノ雄圖ニシテ又本事業最重要ノ作
戦ナルヲ信ス

茲ニ軍旗ヲ奉シ聯隊主力ト共ニ此ノ最モ意義深キ大會戦ニ参加
シ得ルハ諸子均シク本懐トスル所タルヲ信スルト共ニ諸子益々上下
協力一致死力ヲ盡シテ奮闘スヘキ恐ラク最終ノ戦場タルヲ思ヒ
死力ヲ盡シ率先南京城頭ニ突進シ我軍旗ノ光輝ト信州健
児ノ勇名ト赫カタル勲績トヲ永ク我史上ニ高揚センコトヲ期スヘシ
昭和十二年十二月十日午前八時 於將軍山東麓

三午前十時三十分頃聯隊ハ蘇田橋十字路ニ達ス

此ノ時増子中尉ヨリ左記旅團命令ヲ傳達セラル

歩二三八旅團命令 於蘇田橋
於十二月十日午前十時十分

- 一 師團ハ當面ノ敵ヲ追撃シ周家凹兩花台ノ線ニ進出ス師團ハ重
 莫ヲ兩花台ニ指向ス秋山旅團ハ當面ノ敵ヲ追撃シ兩花台ノ
 線ニ進出スル筈
- 二 兩旅團ノ戰鬥地境ハ同花營東側ヨリ丁家巷ニ通スル兩莫線路
 (五万分ノ圖)ノ線トス線ノ上ハ右旅團ニ屬ス
- 三 旅團ハ周家凹丁家巷ヲ連ヌル線以東ノ地區ヨリ一擧ニ敵ヲ
 攻撃シ南京城壁ノ線ニ向ヒ進出セントス
- 四 右ヨリ1500、1150ノ順序ニ第一線旅團ノ重莫指向方面ハ左隊
 隊ノ正面トス
- 五 展開終ラバ直ニ攻撃ヲ前進
- 六 兩聯隊ノ戰鬥地境ハ丁家巷鮮臭寧南京東南角ノ線トス
 線上ハ左聯隊ニ屬ス
- 七 工兵中隊(三小隊)ハ歩兵第百十五聯隊ノ後方ヲ前進シ適時第一
 線聯隊ト協力スヘシ

六、兩聯隊ヨリ豫備隊トシテ各一ケ中隊ヲ現在地ニ残置シ先任中
隊長ノ指揮ヲ以テ丁家巷、周家凹道ヲ前進スヘシ
七、余ハ豫備隊ト共ニ丁家巷、周家凹道ヲ前進ス

旅團長 眞少將

注意

周家凹一雨花台、線以北ニハ兩聯隊ヨリ聯隊長ノ指揮スル歩
兵一ケ大隊以內ノ兵力ヲ使用シ先ツ城壁ヲ占領シタル後城内
ハ皆兵力ヲ集積スルモテ進マズ

一、右命令ニ基キ聯隊長ハ直ニ先記要旨ノ命令ヲ下達スルト共ニ
部下各隊全員ニ對シ輕裝ヲ命ジ背囊監視ハ爲若干ノ兵
ヲ残置ス

步兵第百五十聯隊命令 十二月十日午前十時五十分
於 藤田橋北側

一、旅團ハ師團ノ右翼隊トナリ丁家巷附近ニ展開シ周家凹附

近敵ヲ攻撃シ南京東南角ニ進出ス

二 聯隊ハ旅團ノ右一線 光聯隊ト、戰鬥地境 丁家巷一鯽魚

竈一南京東南角ヲ連スル線トス 線上ハ左聯隊ニ属ス

三 第三大隊(第五中隊ヲ欠キ第一機関銃班ヲ属ス)ハ第一線戰鬥地境

ノ東側ニ傍ヒ先ズ曾家門ニ向ヒ前進スヘシ

爾余ハ第二線 第一線ノ後方三百米ヲ以テ 4 RMG LA III (7/11/2ス)

順序ヲ以テ前進

四 第九中隊ハ旅團ヲ備トス

五 通信班ハ聯隊本部 第二大隊間及☆間ノ有線連絡ニ任スヘシ

余ハ第二線ノ前方ヲ曾家門ニ向ヒ前進ス

聯隊長 山本中佐

下達法

命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

四 諸隊ハ迅速ニ輕裝準備ヲ整ヘ所命ノ態勢ヲ以テ 115i ノ後方ヲ前

進シ林家崗南方ニ於テ、道路ヨリ離脱シ、遂次東方ニ轉移テ、
巷南側ヲ經テ、蔣家附近ニ達シ、現態勢ヲ以テ展開シ、張家東側ノ
敵ヲ攻撃ス、敵ハ既設陣地、銃眼及「ト」ケカヨリ小銃機關銃道
撃砲ヲ猛射シ、其ノ炸烈ノ音響喧轟ヲ極ム、急テ聯隊本部ニ迫撃
砲彈ヲ發射シ、隊中隊亦迫撃砲ノ集中ヲ浴ビ、数名ノ戦
死傷者ヲ出セリ

五、此ノ頃ヨリ左聯隊タルハ、戰鬥地境ヲ越ヘ、遂次右方ニ右方ニト、其位
置ヲ轉シ、聯隊モ止リ、重兵方面ニ順應シ、第一線ヲ右方ニ移動
シ、豫備隊ヲ右翼後ニ位置セシメ、曾家門ニ通スル新道ヲ東方ニ越テ、然
ルニ新道ニ接シ、展開シ、戦況交線シテ、其ノ東方若干ノ距離ヲ以テ、
止リ、其ノ中間ヨリ曾家門台上ノ敵ト交戦ス、重兵器多数ヲ有スル約
一大隊ノ敵ハ、台上ニ防禦編成セル六角堂葬場及三軒家並ニ其ノ
前後ニ散在スル五六個ノ「ト」ケカニ、位置不明ノ側防機關銃ヲ有シ、
鉄條網ニ條ヲ圍ラシ、我ヲ嚴制セル堅固ナル陣地ニ頑強ナル抵抗ヲ續ケ

當時備隊協力ヲ聯隊長僅五中隊ヲ有スル現況ニテ以テ迅速ニ攻撃ヲ奏功セシメ難キ爲メ旅團長ニ砲兵協力ノ希望特ニ配属砲兵ノ必要ヲ報告シ更ニ午後四時頃毛象營附近ニ於テ第三大隊(九、十、十二中隊)第四中隊及歩兵砲ニ命ジ聯隊機關銃主力ヲ屬スヲ右第一線トシ薄暮後夜襲ヲ依リ陣地ノ奪取ヲ企圖セシモ日没迄砲兵協力ヲ得ズ我戦線遠ニ膠着シ且ツ電話線ハ再ニ敵彈ニ切断セラレ連絡屢々断絶スルノ景況ニテ夜ニ入ル

當時第九師團、前夜曾家門附近、夜襲成功セズ聯隊ノ戦闘地区クル本道東側曾家門南側斜面ニ終日停止シ其東北方千米ニ在リ第一線ヲ以テ聯隊ハ連襲不可能ニシテ地上敵瞰制下不利ニ在リ中間ニ展開スルヲ得サリキ
七此ノ日午後二時半我飛行機數機ハ突如銀翼ヲ連ホテ上空ニ飛来ス敵高射砲數門一齊ニ連續發射シ空中炸裂セルモ我飛行機、悠然タルヲ抑キ見テ我將兵意氣大ニ揚ヘリ
八日没後モ我死傷漸次其ノ數ヲ増シ衛生隊ノ請求ヲ受ケルヲ頻

ナリ聯隊ハ屢々旅團ヲ通シ該隊ノ派遣ヲ請ヒタルモ實現ヲ見スレテセリ
夜ニ入ル共ニ聯隊本部ノ燕子根ノ寺院ニ移動ス同時第一大隊甘利曹
長連絡ヲ来リシヲ以テ該大隊ニ復歸ヲ命ス

午後十時頃上陸以テ聯隊主カヨリ離レアリ第一大隊長ハ第一中隊
第一機周銃中隊一小隊及第五中隊ヲ併セ指揮シテ聯隊ニ復歸シ聯隊
長ノ隸下ニ入ル午後十時四十分聯隊旅團命令ニ基キ九記ノ命令
ヲ下達ス

步兵第百五十聯隊命令 十二月十日午後十時四十分
於燕子根寺院

一敵ハ我勸降ヲ入レズ南京城外ニ於テ辛クテ最後ノ抵抗ヲ保持シ
ツアリ

師團ハ為旅團方面ニ重点ヲ保持シ夜ニ入ルモ攻撃ヲ續行シ待望ノ
南京入城ヲ企圖ス步兵第百五十七旅團ハ周家凹以西ノ地ニラ攻撃ス
砲兵隊ハ主カヲ以テ朱家樓附近ニ陣地ヲ占領シ敵砲兵制圧南
京城壁ノ破壊射撃ヲ任シ主トシテ右翼兵隊ノ戦闘ニ協力ス

騎兵隊ハ燕子山附近ニ在リ依然攻撃ヲ續行ス

輕裝甲車隊ハ主力ヲ以テ右翼隊一部ヲ以テ左翼隊ニ協力

旅團(野砲兵第百十聯隊)及工兵第百十四聯隊(重砲兵)配屬ハ師團ノ右翼隊

トナリ依然攻撃ヲ續行シ周家凹東側地ニ進出ス

二聯隊(砲兵配屬)ハ依然重砲ヲ右翼ニ保持シ夜ニルモ攻撃ヲ續行

シ先ス曾家門北側地ニ進出シ明拂曉攻撃ヲ準備セントス

野戰重砲兵第十四聯隊第ニ大隊ハ主トシテ明拂曉ノ攻撃ヲ協カス

三第一線兩大隊ハ夜ニルモ攻撃ヲ續行シ各一小部隊ヲ以テ内道

攻撃等ノ方法ニ依リ遂次「トケカ」陣地ヲ占領シ先ス陸家北側ノ

線ニ進出スヘシ正子以後各大隊ニ各一小隊ヲ増加セシム

四戰鬥地域ノ境界ヲ左ノ如ク變更ス

115i 牛王村—曾家門—南京東門 (線上ハ115iニ屬ス)

115ii 燕子根南側寺院—陸家中央—双橋門

五工兵小隊ハ兩第一線大隊ニ連絡シ陣地前障礙物ノ破壞ニ協力シ

且ツ地雷ノ偵察ニ任スヘシ

六會田大隊ハ聯隊豫備トス右大隊ノ後方ニ位置スヘシ

七通信班ハ前任務ヲ續行スヘシ

余ハ暫ク現在地ニ在リ戦闘ノ進捗ニ隨ヒ右大隊ノ後方ニ列ル

聯隊長 山本中佐

下達法

命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

歩砲協定事項

午前七時五分ヨリ三十分間効力射準備射撃ヲ續キ敵

「トイケカ」陣地ニ對スル破壊射撃

右命令ニ基キ第一線ハ萬難ヲ排シ攻撃ヲ續行セルモ進捗意ノ如ク
ナラス膠着シテ拂曉トナル

十二月十一日

午前九時半野重大隊ハ砲撃ヲ開始ス野重ハ觀測所ヲ聯隊本

部、位置ニ進、其、連絡將校ハ第一大隊ニ位置シ密接ナル協同ノ
許ニ砲撃ヲ實施セリ午前十時頃第三師團、連絡將校来リ同師團
先頭ヲ以テ現在地ニ進出スヘキヲ告ケ當面ノ狀況ヲ承知シ去レリ
重砲、猛威ニ依リ敵陣ヲ掩蓋銃座或ハト一チカハ概ホ沈黙セリ
此、時敵ト三百乃至五百ノ距離迄近接シアル第一線ニ對シ聯隊長
ハ攻撃前進ノ命ヲ下達ス時、午前十時三十分ナリ
第一線攻撃前進ヲ起スト見ルヤ俄然敵陣ハ一齊ニ猛射ヲ開
始シ小銃機關銃迫撃砲ノ十字火網ヲ浴ビ忽チシテ死傷續
出セリ聯隊本部亦第一線近ク毛家營北端ニ進出セルモ此、時
友軍ノ不明ナル集中砲彈極メテ近ク落下シ危険ニ瀕シ攻撃中
一時頓挫ス直ケニ先ス野重及旅團ニ連絡シ何レノ砲兵ナルヤヲ確
メタルモ判然セス不安、ウケニ砲兵ニ射撃中止ヲ要求ス
日没前頃ヨリ彼我、交戦益、激烈ヲ極シ死傷漸次多キモ極力
敵左側背ニ向ヒ第一線兩大隊ハ銳意力攻シ敵前百五十乃至

二百米ニ達セリト雖モ凹角ニ入り戦線愈々膠着ノ状態ヲ呈シ且
我右側ニ敵兵益々増加シ其ノ約一大隊ハ我右側ヲ包圍シ戦況ノ發
展ヲ期シ難キ若戰ノ景況トナレリ同時旅團長ヨリ旅團主力方面
ハ敵兵退却ノ徴アリ追撃ヲ準備スヘキ通報ヲ受リ然レ共聯隊方
面ハ現状ノ儘ヲ以テシテハ追撃ヲ機ヲ失スル恐アリ又我右側ノ敵
ノ包圍翼ヲ破碎セントスルモ兵力之レヲ許カハルヲ以テ聯隊長ハ現戰
線ヲ更改シ目下攻勢中ノ敵陸地右側背ニ展開シ台上ヨリ重兵ヲ
指向シ攻勢ヲ續行ノ決心ヲ有リテ命令ヲ下達ス

步兵第五聯隊命令 十一月十日午後七時三十分

一、敵ハ揚子江ヲ渡リ退却ノ徴アリ

115i ハ其第一線ヲ以テ紅土山北側附近ニ進出シアリ

二、聯隊ハ17iト115iノ間隔ニ重兵ヲ指向シ速ニ當面ノ敵ノ右側背ヲ

攻撃シテ南京ニ向フ追撃ヲ準備スル爲メ水道方面ニ轉進セントス

三、第一線兩大隊轉進ノ準備完了セハ先ス燕子根附近ニ速ニ兵力

ヲ集結シ

本道方面ニ轉進スヘシ

四 豫備隊の一部ヲ以テ速ニ第一線ノ患者ヲ燕子根寺院ニ護送スヘシ

五 轉進ノ爲ノ行軍序列左ノ如シ

第一大隊ノ小隊 歩兵砲 聯隊本部 通信班 第一大隊主力

第二大隊 第三大隊 第三大隊ノ小隊 機關銃 小隊(配屬部
隊長ノ如シ)

六 各大隊ハ轉進ノ準備完了次第報告スヘシ

七 余ハ暫ク現在地ニアリ後本隊ノ先頭ニアリテ行進ス

聯隊長 山本中佐

下達法

命令受領者ヲ集メノ口達筆記セシム

注意

企圖ノ秘匿ニ特ニ注意スヘシ

午後九時頃ヨリ急造担架ヨリ第一線兩大隊ノ戦死傷者收容

ヲ始ム約一時間ヲ要シテ之ヲ終リ部隊亦逐次ニ折命ノ場所タル燕子
根ノ寺院附近ニ集結シ午後十時頃概ネ之ヲ完了ス
而シテ第一線部隊ハ昨日未敵トシテ相對シ或ハ三回或ハ四回ノ食
事ヲ欠ク者アリ次テ追撃準備トシ小行李彈藥及新ニ受領彈
藥並ニ携帶口糧ヲ分配セシム

一方患者ノ處置ハ隊附軍医ヲシテ合同ノ隊縮帶所ニ初療ニ任
セシメ衛生隊ノ派遣ヲ請求セルモ本夜中ノ派遣ハ覺東ナシトノ回答
ニヨリ戰死者ノ處置ヲ兼テ小銃ニ分隊ヲ殘置スルニ決ス同時森下中
尉ヲシテ野重第三大隊長ヲ連絡セシメ聯隊長ノ爾後ノ企圖ニ通報シ協力
ニ関シ協定セシム

十二月十二日

午前十時聯隊ハ豫定ノ如ク轉進ヲ始ム

星明ニ淡ク光ル細道ヲ肅トシテ本道ヲ越テ西北進ス

午前十時十分聯隊ハ曾家門西南側凹地ニ兵力ヲ集結ヲ了リ

朝食ヲ喫シ兵器ノ手入整備ニ着手シ午前七時四十分諸準備ヲ完了セリ

午前八時聯隊長ハ左ノ命令ヲ下達ス

歩一五〇聯隊命令 十二月十二日午前八時 於曾家門西南側凹地

一 敵ハ逐次退却ノ徵有リ

二 聯隊(野砲兵第八中隊ヲ屬セラレテ工兵小隊ノ配屬如故)ハ115ノ右翼ニ進

出シ周家凹東側ノ敵陣地ヲ攻撃シタル後南京東南角ニ進出セントス

三 第一大隊(第二中隊欠第五中隊)聯隊機關銃一小隊平射砲小隊

工兵小隊ヲ配屬スル第一線115ノ右ニ進出シ展開スヘシ

四 第二大隊ノ歩兵一小隊及機關銃一小隊ハ右側掩護隊第一線大

隊ノ右側後ヲ前進シ攻撃ヲ前進間右側ノ警戒掩護ニ任スヘシ

五 爾余ノ豫備隊第一線中央後ヲ左ノ順序ニ依リ疎開前進スヘシ

豫備隊第一線

第二線

第二大隊(第五中隊欠)

右聯隊機關銃(一小隊欠)

第三線

各線、距離二百米トス

左第三大隊(9/11/2欠)
歩兵砲隊(平射小隊欠)

六野砲兵第八中隊ハ終始第一線大隊ト連絡シ同大隊ノ攻撃ニ協力スヘシ
シ現在ノ位置ニ於テ攻撃ノ進捗ニ伴ヒ敵陣地ノ銃眼ノ制圧ノ後南
京城壁ノ破壊射撃ヲ任スヘシ
七通信班ハ前任務ヲ續行スヘシ

八余ハ暫ク現在地ニ在リテ後第一線ノ中央後ヲ前進ス

下達法

聯隊長 山本中佐

命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

午前八時十分第一線大隊ノ前進準備完了スルニ聯隊長ハ全員ヲ整
列セシメ旗手ニ命ジテ軍旗ノ覆ヲ脱シ部隊中央前ニ誘導セシメ左記要
旨ノ訓示ヲ與フ

訓示

愈々今ヨリ軍旗ヲ奉シ敵國ノ首都南京城ヲ攻撃スルニ先シ恭シク
軍旗ヲ奉迎ス時コソ到レリ各自一死奉公ノ誠ヲ盡セ決レテ人後ヲ落
ツル勿レ

次ニ東方宮城ヲ遙狩シ聖壽萬歲皇國萬歲ヲ祈念ス將兵ノ士氣
頓ニ昂リ戰前既ニ敵ヲ各々概アリ

終ルヤ聯隊長ハ直ニ第一線前進シ命令シ豫備隊之ニ續行シ
目標ニ向ヒ急進ス此頃1966東方ヲ轉進シ為ノ部隊ヲ集結中ナリ
午前九時三十分頃第一線大隊ハ曾家厝高地上ヲ占領シ步兵第百十

五聯隊ノ右翼ニ展開ヲ終ル同地砲兵觀測所ニ於テ聯隊長ハ野砲兵
聯隊長ト城壁ヲ指呼シ細部ヲ協定ヲ遂ケ配屬砲兵中隊ニ對スル要
求ヲナス此頃兩砲台方向ヨリ數十發ノ敵迫撃砲彈及野砲彈道路
ノ兩側附近ニ落下シ轟然タル爆音ヲ響ク炸烈スルモ我ニ損害ナシ
聯隊長ハ直ニ第二大隊(三ヶ中隊欠)ヲ右第一線ニ増加シ聯隊機關銃

隊(小隊欠)ヲ兩大隊中間ニ陣地進入セシノ兩大隊ニ協カヲ命ス

第一線兩大隊ノ攻撃ヲ開始シ陸軍東北地方台地本道附近ノ推土及集團家屋ヨリ敵自動火器ノ射撃ヲ受ケルモ逐次之ヲ撃退シテ午前土時第一線ハ南京東南方約三百米ノ陸軍高射砲矢圍ニ達シ戰線標示ノ爲メ土時十分高サ三十米ノ桿頭ニ國旗ヲ掲ク豫備隊モ亦相次テ此ノ附近ニ到達セルモ敵ハ周家凹附近ノ高地及城壁方向ヨリ自動火器野砲及迫撃砲ヲ以テ猛烈ナル射撃ヲナシ我々之ヲ制圧ニ勉メタルモ數名ノ死傷者ヲ生スルニ至レリ正午頃旅團豫備隊タリシ第九中隊ハ聯隊ニ復歸シ命セラレ到着セルヲ以テ豫備隊ニ加テ最後ノ目標タル南京城ヲ眼前ニ睨ミ將兵ノ士氣彌カシテ昂揚セル時聯隊長ハ左ノ命令ヲ下ス

步兵第百五十聯隊命令 十二月十二日午前土時四十分
於高射砲兵團兵舎

一 城壁外ノ敵ハ逐次撃退セラレツアリ

步兵第百五十聯隊ハ周家凹高地ヲ奪取セルモノト如シ

二 聯隊ノ現在ノ線ニ先ス突撃ヲ準備シ砲兵ノ射撃ヲ終了ト共ニ南

京城東南角ヲ突入之ヲ奪取セントス。

三 第一大隊(配屬部隊故、如シハ現在ノ線ニ態勢ヲ整ヘ東南角城門ヨリ城内ニ突入スヘシ勇力散ナル將校以下一小隊ヲ選抜シ砲兵射撃ニ間城壁ニ接近セシメ城門ヲ奪取ニ任セシムヘシ)

四 第二大隊(配屬部隊故、如シハ現在ノ線ニ態勢ヲ整ヘ城壁破壊口ヨリ城内ニ突入スヘシ勇力散ナル將校以下一小隊ヲ選抜シ砲兵射撃門逐次城壁ニ接近セシメ城壁破壊口ヲ奪取ニ任セシムヘシ)

五 第一線兩大隊ハ直ケニ「リ」通過ス。及城壁附近ノ敵清地取ヲ搜索スヘシ

六 野砲兵第八中隊ハ城壁破壊射撃ヲ實施スヘシ此カ終了時刻ハ午後一時二十分トス

七 尔余ハ豫備隊トス。左大隊、後方ヲ前進スヘシ

八 余暫ク現在地ニ在リ。後左大隊、後方ニ在リテ突撃ス

聯隊長 山本中佐

下達法

命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

注意

一 城内ニハ毒瓦斯及細菌散布ノ疑アリ殊ニ水ニ就キ注意ヲ要ス
被毒疑アルモノハ速ニ報告スヘシ化學實驗部ハ師團上同行シアリ

二 突入部隊ハ國旗ヲ振り突入ノコト又第一線部隊ハ敵眼ニ見エテ

三 國旗ヲ標示セシムヘシ

三 選抜兩小隊ノ外第一線部隊ハ兵營北側ノ線以北ニ進出スルコトナラ
突撃準備ヲ整ヘ後命ヲ俟ツヘシ

四 現在ノ線ヨリ突撃前進ニ際シテハ重火器ヲ以テ城壁上ヲ制圧シ突撃
ヲ掩護セシムルヲ要ス

五 第一線ノ速ニ「タリーク」通過及城壁攀登ノ爲メ應用材料ヲ聚集
スヘシ

第二大隊正午兵營北端ノ線ニ達シ机丸太戸板等ヲ以テ輕渡河ノ

材料ヲ準備シ高城壁登ル梯子、机等蒐集スルニ勉ム
當時ニ於ケル彼我ノ態勢ヲ附圖第 圖、如シ

當時尚武定門東方地區及南門附近並城壁上ヨリ射撃ヲ受ケ彼我ノ銃砲彈盛ニ飛来ス砲兵ハ射撃ヲ開始シ城壁ニ命中轟々タル爆音ハ青空ニ響キ一彈毎ニ彈着良ク逐次破壊ノ度ヲ進ム十五糧糧彈砲ハ彈着近ク或ハ低キヲ以テ旅團ヲ通シ觀測ノ結果ヲ通報セリ

當時所々敵眼ニ遮蔽シテ曰章旗籠リ南京城一番兼對シ必勝ノ信念ハ愈々堅ク將兵全員意氣正ニ軒昂スリ

同時工兵第百十四聯隊副官一分隊ヲ率テ當聯隊ニ来着シテ以テ「クリーク」通過及爆破ヲ協定シ又野戦重砲兵第十四聯隊第三大隊

ノ連絡將校ト城壁破壊射撃ニ関スル連絡ヲナス午後一時聯隊長ハ第三大隊長ノ許ニ至リ前方ノ情況ヲ仔細ニ聽取シ砲兵ノ射撃終了ヲ待ツ之ヨリ先第三大隊長ニ村上等兵以下三名ノ部下ヲ以テ「クリーク」ヲ渡河シ城門ニ國旗ヲ植立ヲ命ジ一時ニ十分城門左側ニ之レヲ樹ツ

時ニ前方ヨリ傳令来リ「敵約ニ百名クリトクノ両側ヲ退却中小隊ハ之ヲ射撃中城壁ハ既ニ登レマス左前ノ橋梁ハ破壊サレテ居リコセント報告ス既ニシテ砲兵ハ射撃ヲ中止シ時機刻々迫レルヲ以テ射撃ヲ中止ヲ要求シ聯隊長ハ午後一時二十分突撃前進ヲ命ジ軍旗ノ覆ヲ脱シテ「クリトク」ノ線ニ到ル傳令ノ報告ニアル橋梁(鉄橋)ハ午前三米ハ所ヨリ約一橋節破壊セラレテリ惟ク傳令ノ歸還直後敵ノ装置セル爆薬ニ我砲兵ノ射弾命中中爆破シタルモノナルヘレ

一部ノ兵ハ携行シタル機ノ板等ヲ以テ輕架橋ヲ實施セントセシカ「クリトク」ノ中大ニシテ應急ノ間ニ合ハサルヲ知り工兵ヲシテ橋梁ヲ修理セシムルニ決シ聯隊長ハ第二大隊ト共ニ橋梁南岸ニ進出シ茲ニ第二次ノ突撃準備ニ着キ午後二時二十分頃ナリ

我砲撃ニ依リ一時制圧セラレタル敵ハ射撃ヲ中止シ長引クニ從ヒ再ヒ城壁上ニ姿ヲ現シ各銃眼ヨリ狙撃ス城壁迄ノ距離ニ〇〇米ナルヲ以テ敵ノ狙撃ハ正確ヲ極メタリ

我ハ機關銃平射歩兵砲擲彈筒等ヲ以テ之カ制圧ニ勉メタルモ死傷者續出ス

茲ニ於テ聯隊長ハ今ニシテ工兵ハ架橋ヲ成功セシメ續キテ城門ヲ爆破スルニアラザレハ成功望ミ難シトナシ全聯隊ノ重火器ヲ家屋内ニ隱蔽配列シ銃砲眼ヲ穿タシメ掩護射撃ヲ準備セシメ電話ヲ以テ更ニ城壁上際ニ對スル砲兵ノ射撃復行ヲ要求ス時ニ午後二時四十分頃ナリ

然ルニ旅團高級副官ヨリ城内ニハ既ニ歩一五ノ一部午後一時二十分頃進入シアルヲ以テ射撃スルヲ得スト回答ヲ得他ニ突入ノ場所ナク誤報タルハ明瞭ナルモ其ノ隊ハ何レヨリ進入セシヤ然ラハ當聯隊ハ攻撃ヲ要ナキヤヲ反問セルモ共ニ明瞭ナル回答ナクシテ黙セリ

當時鐵道踏切ヲ隔テ聯隊ノ第一線ノ左側道路止ニハ歩兵第二五聯隊ノ第一線タル第三大隊密集シ突撃ヲ準備中ニシテ城門ハ閉サレ城壁破壊口ハ友軍ノ射撃ヲ連續シ何レヨリモ通過点ナク同隊ノ斥候ニテ「クリーク」ヲ泳キ渡リシモノスラ城内ニ潜入シ得サルハ明瞭ナルヲ

以テ旅團ノ接受セル報告ハ單ナル豫想報告若クハ誤報タルヲ現認セ
ルヲ以テ聯隊長ハ砲兵不要ト絶叫シ全然歩兵ノ協力を依リ之ヲ敢行
セントレテ鉄道ヨリ東方ノ重火器ヲ北澤大尉ヲシテ統制セシノ西方ヲ内田
大尉及小林大尉ヲシテ統制セシノ茲ニ於テ工兵聯隊副官阿部中尉
及小隊長浅川少尉ヲシテ協力シテ歩兵掩護射撃下ニ迅速ニ電柱戸
板梯子等ヲ利用スル橋梁修理材料ノ準備ヲ終ラシテ爆破班ノ區
處ヲ了ヘ射撃効果ヲ俟ツ當時阿部中尉モ亦砲兵ノ掩護射撃
ヲ要求シタルモ旅團ヨリ電話一時間ヘス同時頃幸ニモ配属砲兵城壁ニ對
スル短時間制圧射撃ヲ開始ス彈着稍低キニ失シ友軍ニ危害ヲ與フル
懼レアルヲ以テ射距離ノ修正ヲ要求スルニ意ノ如シ時刻ハ良シ此ノ勢カニ
乘シ聯隊長ハ全重火器ヲシテ銃眼ヲ逐次ニシラミツブシ的ニ制圧スル如ク
一齊ニ射撃開始ヲ命ジ彼我ノ銃砲聲段々タル中ヲ工兵ノ煙幕ヲ構
成シ架橋突死隊先ツ突進シ辛ウシテ一列ヲ以テ通過シ得ル架橋終ルヤ間
髪ヲ入レテ爆破班之ヲ超越シテ突進ス更ニ先頭突撃部隊タル第六中

隊ノ小隊次ニ第八中隊聯隊本部第七中隊等續行ス同時歩兵第
 百廿五聯隊配屬ノ兵其ノ梯子短クシテ届カサル爲我ヲ聯隊配屬工
 兵ノ架設セル電柱及梯子ニ托シテ梯子ヲ倒シ掛ケ歩二五ノ一
 小部隊ハ聯隊ニ混淆シテ渡橋セルヲ見ル電詔ヲ以テ砲兵ノ射撃中
 止ヲ要求スルニ須臾ニシテ止ル此ノ頃敵ハ三度射撃ヲ開始スルモ決死隊
 ハ意トスルコトナク猛然前進シテ城門ニ爆藥ヲ裝シ運キ到着セル歩二五
 聯隊配屬ノ兵爆藥ヲ待テ合セ傍ナル城壁外ニ身ヲ匿ス轟然タル爆音
 ハ耳ヲ聳シ燦々タル黒煙ハ天ヲ掩ヘリ爆藥ノ裝着不完成ナル爲カ城門
 ハ僅ニ削割シテ通スル程度ニ破壊セラレタルニミナリ然レ共我ヲ勇
 敢無比ナル歩兵ハ第二天隊長児森少佐先頭トナリ城門内ニ突入
 ス同時聯隊長ハ軍旗聯隊本部及軍旗中隊ノ一部ヲ率イテ前方
 ナル部隊ヲ超越シテ城壁ノ破壊口ヲ攀登シ崩壊スル土砂礫石
 ニ墮マサレテ強行ヲ續キ突進シ聯隊本部書記濱曹長先頭第一
 ニ日章旗ヲ城壁上ニ打ケ振り軍旗聯隊長之ニ續キ敵國首都南

京城壁上ニ敵彈尙兩飛、裡軍旗ノ光ハ燦然トシテ斜陽ニ輝キ仰キ觀ル將兵感極リテ奮進ス時當ニ午後四時七分ナリ
通信班ハ此等ノ經過ヲ逐一旅團ニ報告セリ

城門ノ爆破不十分ナリレタノ當初第三大隊本部笹澤曹長聯隊本部林一等兵第三大隊本部橋葉上等兵第三大隊長児森少佐ノ順序ニ突入セシカル後土砂ノ崩壞ニヨリ破壊口ヲ閉塞セラレ一時部隊ノ突進ヲ阻止セラレシカ以上ノ四名ハ寡兵奮闘克ク據臬ヲ確保セリ此ノ情况ヲ知レル兵ハ殺到スル我兵ヲ抑制シ午後四時十分第三回ノ爆破ヲ敢行ス車轉然タル爆音ト共ニ列通過ニ支障ナキ程度ニ崩カレ燦々タル黒煙ニ掩ハレ一時咫尺ヲ弁セザリシカ煙ノ消ユルト共ニ第一大隊本部甘利曹長ハ第一中隊征矢上等兵ノ指揮スル輕機関銃ヲ率イテ突入シ一軒家ノ扉ヲ破リテ之ヲ占領シ逃クル敵ヲ猛射ス之ニ引續キ第八第七中隊陸續突入シテ第三大隊長ノ指揮下ニ入り第一大隊長又第一中隊ヲ伴ヒ突入シ兩大隊長ハ城内確保ニ就キ協定セリ此頃歩兵第百十五聯隊ノ一部混淆

突入セリ然ルニ第一大隊長ハ旅團ヨリ城外警備ニ任スヘキ電話命令
ヲ受領シ一旦城外ニ出ツルノヤムナキニ至レリ
城壁ニ於テハ破壊口峻峻ナルヲ戰果擴張スルニ進捗セズ聯隊長
ハ躍起シテ叱咤激勵シ滝澤少尉森下中尉小澤少尉聲ヲ洩ラシテ之
カ傳達ニ勉メ第三回ノ爆破以後漸ク進捗ヲ見ルニ至レリ
然レトモ撒物ナル敵ハ城壁上下ヨリ各種火カヲ集中シ或ハ手榴彈ヲ投
シ又ハ喇叭ヲ吹奏シテ遂ニ襲ヲ試ムル等城壁奪回ニ死カヲ喝シタリ
爲ニ我カ死傷續出セシカ我カ兵ハ勇奮蹶起シ既ニ占領セル地步ヲ確
保シ各敵彈雨飛ニ裡ニ射撃ト工事ヲ反復實施シ極力戰果ヲ擴
張ニ勉ムルトコロアリタリ折シモ第三機關銃中隊長内田大尉指揮ス
ル一銃ハ破壊口ヲ擊登シ乘リ機敏ニ陣地進入ヲナシ射撃ヲ開始セリ
之ニ依リ敵ハ一時動搖ヲ来セリ我ハ一步一步ト戰線ヲ擴張ニ勉メタリ
時ニ各隊混濁シテアリテ以テ城門内ニ於テハ第二大隊長之ヲ整理區
處シ城壁上ニ於テハ聯隊長直接此ノ任ニ當リ城外橋梁等後方

警備ハ第三大隊長ヲシテ担任セシム

折シモ勇敢ナル通信兵ハ聯隊長ノ許ニ電話ヲ同設セシカ彼我ノ銃砲聲盛ニシテ聽取得サリキ

第一線部隊漸ク彈藥特ニ手榴彈機關銃彈ノ不足ヲ訴フルニ至レリ折ヨク廣陳鎮西北方部落ヨリ別路ヲ前進セシメタル櫻井技術准尉ノ率エル聯隊小行本到着シ十分ニ彈藥ヲ補給シ得ルハ戰鬥上特ニ士氣上ニ興ハタル効果預ツテ大ナルモアリタリ

時間：經過ト共ニ各隊各地歩ヲ進メ之ヲ確保スルニ勉ム日ハ西山ニ没シ暮靄漸ク四邊ヲ包ム頃ヨリ敵ノ火力次第ニ衰ヘ南京城東南角及城壁ハ確實ニ我カ聯隊ノ有ニ歸シタリ

此ノ間城壁上ニ於テ聯隊本部ハ森下中尉壯烈ナル戦死ヲ遂ケ小澤少尉旗手小山少尉及副官滝澤少尉相次キ負傷シ救急處置ノ儘後退ヲセス任務ヲ繼續セリ聯隊長ハ軍旗ヲ擁シテ城壁内部ノ階段ヲ經テ城内ニ到リ具ニ内部ノ配備及兎森少佐重傷ノ状

況ヲ聽取ス當時ニ於ケル彼我ノ態勢ヲ附圖第一ニ如シ
茲ニ於テ新ニ部隊ヲ整理シ既ニ奪取セル地域ヲ堅固ニ保持シ夜ヲ徹スル
決心ヲナシ尤記要ヒ目ノ命令ヲ下ス

步兵第百五十聯隊命令 十一月十日午後六時十分

於南京城内東南角

一、敵ニ首都南京ヲ放棄シテ北方ニ退却セルカ如キモ一部ニ尚至近距離ニ
止リテ我ヲ撃退スルニ汲々タリ

步兵第百十五聯隊ニ一部ハ當聯隊ト混淆シテ城内ニ進入セリ

ニ聯隊ハ既ニ奪取セル地歩ヲ堅固ニ保持シ夜ヲ徹セントス

三、會田少佐ハ城内第一線部隊ヲ指揮シ現在、線ヲ確保シ敵ノ送
襲ニ對シ至嚴ナル警戒ヲナスヘシ

一部ヲ以テ雨花門ヲ守備セルヲ要ス

四、内田大尉ハ城壁破壊口ヨリ右野口中尉ハ其ノ左側ヲ城壁占領
部隊ヲ指揮シ城内ノ第一線ト密ニ連絡シ特ニ現在ノ線ヲ確保ス
ヘシ特ニ兩側城壁上ヨリスル敵ノ送襲ヲ警戒スルヲ要ス

五、第三大隊長大塚少佐、其ノ指揮下ニアル部隊及第四中隊獨立機

関銃第五大隊ニ小隊ヲ指揮シ、城外ヲ警備シ、城外ノ敵、遂

襲ヲ警戒シ、現在ノ線ヲ確保スヘシ

六、第八中隊ノ二分隊ハ軍旗ヲ直接護衛シ任スヘシ

七、各砲兵部隊ハ大逆襲ニ對シテ、友軍ノ危険ナキ地域ニ射撃

ヲ得ル如ク準備スヘシ

八、通信班ハ前任務ヲ續行スヘシ

彙ハ兩花間内第一線ノ直後ニ位置ス

聯隊長 山本中佐

下達法

命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

日ハ没シタレトモ十日ノ沖天ニ懸リ刺ヘ南方部諸ニ火災起リタル多ク、城壁上

ニ行動スル我ノ兵ト、葉空際ニ投影シ、敵ノ其ノ都度迫撃砲自動火器ヲ

以テ猛射シ我ノ行動ハ大ニ制禦セラレタリ

夜ノ更クルニ從ヒ敵ノ火力ハ次第ニ衰ヘタリシカ大小ノ逆襲ハ數回ニ亘リ繰
リ返サレタリ然レトモ第一線各隊ハ克ク陣地ヲ確保シ之ヲ擊退セリ
午前ニ時ヲ分頃閩中尉ハ左記旅團命令ヲ傳達ス

右翼隊命令

十二日十二時後八時三十分
於南京東南角東南方七〇米道路側無名部落

一師團ハ南京城頭高ク日章旗ヲ翻セリ

師團ハ主力ヲ周家凹一兩下台線以南地區ニ集結シ一部ヲ以テ城内ヲ
掃蕩ス

ニ右翼隊ハ主力ヲ以テ折命線以南地區ニ集結シ一部ヲ以テ城内ヲ掃蕩セシメス
三歩兵兩聯隊ハ既ニ示シテ兵力ヲ以テ城壁附近ニ軍旗ヲ奉シ其ノ主力ヲ
以テ城壁近ク堅固ニ地步ヲ占メ敵ノ逆襲ニ備ヘ逐次城内ノ掃蕩ニ
任スヘシ

掃蕩及警戒區域ノ境界左ノ如シ

觀音庵——白鷺洲——國貨界上西端道路集合矣ヲ連スル
線(線上ハ右聯隊ニ屬ス)

四戰關地境在、如シ

師團ト上海派遣軍ト境界ハ共和門ヨリ西方ニ通スル道路トス

右翼隊間ハ周家凹東端養虎巷琵琶巷市政府社會局

大陸銀行ヲ通スル大街ノ線(線上ハ左翼隊ニ屬ス)

五尔余ノ諸隊ハ予備隊トシ南京東南角ヨリ東南方約七〇米道

路ニ添テ無名部落ニ(野砲兵中隊ハ現在地)ニ至嚴ナル警告戒裡ニ

夜ヲ徹スヘシ警告戒ニ関シテハ先任中隊長之ヲ區處スヘシ

六予ハ南京東南角ヨリ東南方約七〇米道路ニ添テ無名部落

ニ在リ

右翼隊長 奥 少將

注意

幹部ニ於テ露落管火ノ警告戒ノタメ(迫撃砲)至嚴ナル注意ヲ要ス

右命令ニ基キ會田少佐ヲ招致シ第一大隊(第二第三中隊)野砲兵第

百ヲ聯隊第八中隊及第五第六第七中隊第一機關銃隊步兵砲(三

ツ

（金欠）ヲ指揮シテ天明後ヨリ指定區域ノ掃蕩ヲ實施スヘキ命シ通
信班ヲシテ之ト有線連絡ニ任セシム午後五時兵力不明ノ敵大部隊ハ
喇叭ヲ吹奏シツ、大逞襲ヲ試ミタリシカ第一線諸隊ハ蹶然之ヲ擊退
シ午前六時十分頃ヨリ附近ハ全ク靜穩トナリリ
午前七時十分頃ヨリ掃蕩隊ハ至嚴ナル警戒ヲナシツ、掃蕩ニ着手シ午前
八時十分既ニ武定門ヲ占領ス此頃歩兵第百十五聯隊ハ軍旗ヲ捲シテ城
壁上ニ至リ萬歳ヲ三唱セリ

當時第三師團ハ武定門ヨリ入城スル能ハサルタメ當隊ノ占領セル雨花門ヨリ
入城セシメラレ度キヒ自通報ヲ受ケ聯隊長之ヲ承認ス該師團ハ約一ヶ中
隊ヲ雨花門ヨリ入城セシメ内側ヨリ武定門ヲ開キ該門ヨリ主力ヲ入城セシ
メタリ午後五時掃蕩隊ハ租住區域ノ掃蕩ヲ完了ス

同時頃旅團ヨリ兩聯隊ハ掃蕩區域ノ北部ニ前進集結スヘキ命ヲ受
ケ聯隊長ハ第八中隊ヲ率ヒテ前進シ第一大隊第二大隊ヲ區處シ第三
大隊ハ依然前夜ノ位置ニヨリ後方ハ警戒備戰死傷者ノ收容糧

練補給行李掩護ニ任シ至嚴ナル警戒ヲイシ夜ヲ徹ス